

人権教育研究テーマシート

担当（分掌、学年部、教科等） 2 学年	実施時期 平成 27 年 5 月 1 日（金）
テーマ 修学旅行事前研修 静岡市内班別研修（学年遠足 現地集合現地解散） 修学旅行の事前研修に位置づけて、班別研修や平和学習に取り組む。 春の一日を新しいクラスの友人と楽しむ。	
「静岡県が目指す基本的な方向性」との対応 （対応する番号に を記載する。複数選択可） <small>参照：静岡県教育委員会「様々な人権問題と人権学習」</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権に対する正しい理解を深めること 2 人権感覚を高めること 3 自尊感情を育てること
内容 <p>各クラス 3 ～ 6 人の班を編成 事前に資料（静岡市内ガイドマップ）を用いて班毎に見学コースを作成 遠足当日は事前に立てた計画に従い班別研修 行程の途中でクラス毎に決められた時間に静岡平和資料センターに集合し講話を聞く 事後研修として班毎に報告書を作成（投票により優秀作品を選定）</p> <p>* 事前研修に先立って HR 委員を招集、コースの作成方法と注意事項を伝授。その内容を LHR の際に HR 委員からクラス全員に向けて説明させた。 * 当日の開始式は司会、諸注意を HR 委員に任せた。 * 当日、行程のチェックは班員が揃ってうけることとし、班長の責任と班員の協力の重要性を自覚させた。 * 困った時、予定どおりにいかない時は、班長が学年主任の携帯に連絡することを徹底させた。 * 事後研修は足跡を記録に残すことを意識させた。</p>	
実施後振り返って <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の様子・感想・変化など 事前研修では、HR 委員による事前説明に基づき、班員で協力しながらルートと所要時間を資料とスマホ（教師の許可のもと）で調べ、行程を作成していた。 当日は、事前に立てた予定どおりいかず、時間調整や、ルート変更をして乗り切った班もいくつかあったが、臨機応変に対応できていた。 与えられたコースではなく、自分達で考えたコースなので、一味違った楽しみ方をしており、ルールから逸脱しようという姿勢はみられなかった。 ・ 実施した教員の感想・意見 途中 20 件ほど携帯に連絡がはあったが、指示を与えると自分達で対応することができた。リーダー達の意識と班員の協力は概ね良好であったようである。静岡市内という場所で頼れるのは班員だけという状況の中、迷ったり、予想外なことがあったりしたようだが、自分達で切り抜ける姿勢がみられたのは、修学旅行に向けて良い経験になった。 平和資料センターの方も、金谷高校の生徒のためにと、大戦中、島田に落とされた原爆の模擬爆弾の話をしてくださり、生徒はメモをとりながら熱心に聞いていた。修学旅行では長崎の原爆資料館に立ち寄るが、事前にこの話を伺えたことで、身近なこととして戦争や原爆について捉えることが出来たかと思う。 	